



会長 橋本八右衛門 青少年奉仕 正部家光彦
副会長 妻神 和憲 幹事 小田山紀暢
クラブ奉仕 石橋 信雄 会計 岡崎 孝文
会長エレクト 山村 和芳 会場監督 鶴飼 寿栄
職業奉仕 小井田和哉 直前会長 紺野 広
社会奉仕 深澤 隆 副幹事 中村 稔彦
国際奉仕 深澤 隆 会計補佐 浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
同委員 松林 拓司 同委員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ！

～個人を磨くとクラブも輝く！再構築ロータリー～

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

9月 は ロータリーの友月間です

第3324回例会 2024.8.21

会長要件 橋本八右衛門 会長



本日は月初めの例会です。霧囲気のある座敷で、グランドサンピアの皆様本当にありがとうございます。

今月は会員増強月間で澤藤委員長から卓話をいただくことになっています。前年度紺野会長が一生懸命頑張っていたので、急激に入会していただきました。また今まであまり来られてない方が区切りを付けて辞められるという形で、現在66名になっています。これからどんどん頑張って増やしていくことです。卓話では澤藤委員長がお話をしてくれると思います。

ここでは職業分類ということで少し話をさせていただきます。今年次計画書ができあがるころですが、職業分類は計画書の中にA3くらいでいっぱいしています。それにそれぞれの会員がはまっているという形です。これは各クラブでフォーマットが違っているようです。ロータリーではそれぞれの会員の仕事を職業、専門分野に分類して当てはめて職業分類という形でやっています。会員名簿

に自分のお名前の下にそれぞれの職業分類が示されています。

わたしの職業分類は日本酒製造、小田山幹事は不動産業になっています。同業者がいます。同業者的にピックアップすると、村井達さんは酒類製造。鴨澤諭さんは塗料販売、佐々木泰宏さんは塗料配布と微妙に違います。

これは2019年まで一業種一会員という縛りがあったので、そのようになっていましたが、そこから同業者は5名までOKということになり最近制限がなくなりました。なので、職業分類を気にせず、誰でも何人でもということですが、われわれはその種類を分けながら入れています。

これはポール・ハリスがロータリークラブを1905年に立ち上げたわけですが、商道德のたいへんな時にお互いの信頼できる公平な取引ができるように、仕事上の付き合いがそのまま親友関係まで発展する仲間を増やすという目的で作られたクラブです。

クラブの目的としてそれぞれの事業の利益の増大、親睦の推進、最初はその目的で立ち上がりました。その後、相互扶助という考え

方があり、同業者間では親睦ができないのではないかということで、一業種一名という縛りを設けたのが今まで続いてきたのだろうと思います。

ただ実際のところ、先程お話ししましたように、同業者でも違う分類でいっぱい入っている。それでうまくやってきたのでしょう。いろいろ気を遣って、今回はこっちを頼もう、あっちを頼もうなどでやってきた場合もありますが、今まで同業でもうまくやってきているのかな、と思っています。

職種を増やすのは会員増強の基本的なところ、魅力のあるクラブ作り、クラブの活性化にはひじょうに大切なことですよということで一生懸命やっています。会員増強月間で、前からもそういうことは言われていますが、職業分類表を充填する、今まで入っていない職業の方を積極的に勧誘しましょうというのが昔からのやり方の一つではありません。本当に全然いらっしやらない業種の方を入れると、その方から話を聞けたり、実際にいろいろと協力いただけるということです。

そのようなことを意識して、皆さんそれぞれでいろいろと動いていただければありがたいと思っています。ちなみに職業の種類、用語は国や地域によって違うので、国際ロータリーにはリストは存在しないようですが、分類番号は決められているそうです。

ロータリーの在り方においてはいろいろな考え方はあると思いますが、私的にはこれだけいろんな職業の方がいらっしやるので、ぜひ自分の商売の幸せのほうにもつなげていきたいと思っています。

できれば相互扶助の考え方は、クラブ内で自分たちのためにという考え方だろと思いますが、それがいい悪いは別にして、是非ともお互いの職業は何をやっているのかを気にしていただきながら、商売上つなげていってプラスにすることもひじょうに大切ではと考えています。

人生には3人の友人が必要であるというアメリカのことわざがあります。医者と弁護士

と〇〇。医者と弁護士はいらっしやいますので、ぜひこの3人目にロータリークラブの会員の皆様を入れて考えたく思っています。本当にいい意味での“鼻真”を積極的にやっていければと思っています。

入会の時に職業分類をさらっと紹介されたり、南グループの合同例会での紹介のときに職業分類はということで皆さん話されていますが、そういう意味合いも含めて考えていただければと思っています。ご自分でもいろいろ考えていただければと思っています。

幹事報告 小田山紀暢 幹事



○8月28日(水)

奥様同伴納涼例会について
八戸グランドホテル 夜例会です。

○2024-25年度地区大会について

2024年10月12日(土)~13日(日) 五所川原市

13日は朝から予定が入っていますので、前乗りするか、バスを出すなどこれから検討したいと思っていますので、ご参加ください。

委員会報告

親睦・会場委員会

栗谷川敏彦委員長



○ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 竹石 雄さん
- ・奥様誕生祝

浜谷英幸・栗谷川敏彦さん
橋本八右衛門さん

大金食堂 I DMお疲れ様でした。また企画よろしくお願ひします。

澤藤孝之さん 今日会員増強の卓話をさせて頂きます。宜しくお願ひします。

小井田和哉・小田山紀暢 } ニコニコデー
道尻誠助・山村和芳さん }

IDM報告

小田山紀暢幹事

8月19日にクラブ奉仕委員会委員長、副委員長にお声がけをして、大金食堂でIDMを行いました。

鉄板を囲みながら15人出席をいただきました。IDMは委員会ごとに積極的にやっていただきたいというのが橋本会長のお考えですので、このように和気藹々と、普段の例会ではお話ししないような話もできるいい機会かと思えます。委員長は主催され、会員の皆さんはご参加お願いします。

基隆訪問旅行のご案内

(姉妹友好クラブ委員会 小林幹夫委員長)

小田山紀暢幹事



小林委員長が本日ご欠席ですので、代わりにお話をします。

皆さんに「八戸ロータリークラブ台湾基隆4日間」の資料をお渡ししています。

11月14日～4日間。羽田経由で行きます。震災のあった花蓮訪問。基隆RC、花蓮RCの方とやり取りをしていて、花蓮訪問も考えています。15日は基隆市内・九分観光、16日は花蓮市訪問、アテンドは基隆RCの皆さん。小林委員長から来週の納涼例会でご説明いただきます。

会員増強委員会

澤藤孝之委員長



今年度の会員増強委員長の布陣ですが、副委員長は浜谷英幸さん、委員は橋本昭一さん、築館智大さんとたいへん強力な布陣ですので、よろしく

お願いします。

8月は会員増強月間です。会長要件でもいろいろお話がありましたが、会員増強月間に向けてということでお話をさせていただきます。

現在の会員の状況ですが7月現在で66名です。ピーク時は120名くらいいらっしゃったというお話もありますが、ここ10年くらいは

60名代で推移しており、ピーク時と比べると半分くらいです。

2830地区花田ガバナーから緊急事態宣言が出されています。これは今年1月のRI理事会でわが2830地区を含む、世界6つの地区につき近隣の地区と合併するという決議が採択されたということです。これは2026年7月1日までに地区の会員数が1,100名に達しなかった場合、2028年7月1日からこの決議が有効になり、近隣地区と合併を進めるという話です。

直近昨年7月1日現在の地区内会員数は1,082名で1,100名を割っていたのですが、現在は1,101名とまさにギリギリの状況。まさに会員増強は急務の課題であり、本気の取り組みが必要であります。今までも本気で取り組んできたわけですが、さらに本気で取り組んでいかなければいけない状況になっています。

ここで改めて地区区分を確認したいと思います。ロータリーの友に毎号掲載されています。2830地区(青森県)、2540地区(秋田県)、2520地区(岩手・宮城)、山形、福島は1県1区です。四国はだいたい4県1区になっています。2650地区(京都・福井・奈良・滋賀)など比較的人口の多そうなところが一緒になっています。

今までどうなっていたか。元々は2021年に発行された「ロータリー100年史」からの抜粋によると、日本ロータリークラブが設立された1928年から区割りがずっと表になっています。できたときは日本全国が1つの区、それから東日本と西日本に分かれ、それ以降、東日本でも2つに分かれ。1957年に東北・北海道が1つの地区350地区になり、その後1960年に東北6県が352地区になります。

1994年に秋田(2540地区)と青森(2830地区)が分かれ、現在に至っています。2830地区が誕生した経緯やその時の思いがあったわけですが、特色のある活動をしていくためには2830地区を継続し、会員増強を頑張っていかなければいけないということです。青森県

内はグループに分かれています。

わたしたちはどうすればいいのということですが、2830地区花田ガバナーからのメッセージをご紹介します。「本来目指すべきは魅力あふれるクラブ作りです。魅力的なクラブに多くの個性輝くロータリアンが集い、地域を良くする奉仕活動を行って、また居心地のよいクラブを育てていきましょう。そういうクラブには参加したいという人が現れて、入会した会員はその奉仕活動でロータリーを学んで、ロータリアンを仲良くしてロータリーの魅力に惹きこまれていく。奉仕活動に興味をもったいろんな多様性のある人たちが一緒に活動したいという思いで、クラブ作りをしていくことが大切です。」基本的な考えはこういうことです。

では、実際に他所のクラブでどういうことをやっているのかという事例を紹介させていただきます。ロータリーの友8月号、会員増強月間の会員増強記事特集から抜粋したものです。

①福井北ロータリークラブ

入会をお声がけしたい方を年に2、3回例会に無料でご招待する。それでクラブの雰囲気を知ってもらって、入会後は親睦委員会主催の歓迎会、懇親会をやっていく。

例会に無料で招待するのは財政的負担もあるので、この辺はどうなのかな。こういうやり方をしているところもあります。

②東京麹町ロータリークラブ

実績ではなく提案です。多様な会員種別を設ける。当クラブもそうですが、現在は正会員、名誉会員があるが、その他に3つくらい会員種別を設けてはどうか。

(A)シニア会員…年齢が84才以上でロータリーの経験者。会費負担を軽減する。

(B)家族会員…家族の方は会費を半額にする。例会には家族を代表して誰かが出席する。2人出席の場合は食事代をもらう。

(C)web会員…webだけで参加する会員。会費は減額する。例会に参加する場合は有料にする。

③東京クロスシティロータリークラブ

クラブの在り方の見直しと効果的な親睦会で実績を上げた。当クラブでもいろいろ検討課題として挙がっているようですが、女性会員入会、40才未満の新会員の方の入会費免除、会員の知人や友人などの入会候補者を会員拡大懇談会ということで年6回くらいご招待し、2年で16人くらい入会した。

他にも8月号にはいろいろなヒントが掲載されていますので、ご参照いただければと思います。

地区の再編という緊急事態宣言はやはり我々としても受け止めなければいけないと思っています。会員の皆様の周りの方に一人でも二人でも声をかけていただきたいと思っています。もちろん会員増強委員もわれわれも中心となって動きますが、クラブ全体をあげて一時的でない継続的な活動が必要であろうと思っていますので、よろしく願いいたします。

橋本会長から会員増強委員長をお願いしたいとのメールが来た時に、メールに添えてあったことばです。“入りたくても入れない”というクラブが理想だ、ということの日頃思っています。今入会待ちの人たちが10人も20人もいる、入会は来年にしてくださいというような、“入りたくても入れない”クラブを目指したい。わたしもこの言葉にじゃっかん痺れまして、快く委員長を引き受けた次第です。

ロータリーの友委員会 道尻誠助委員長



今の澤藤さんのお話を伺って、毎月1回うなぎを食べさせますという感じでお誘いをしたら会員が増えるのではと思いました。うなぎ上りということ……。

今年度のロータリーの友委員会は赤澤栄治さん、澤藤孝之さん、永澤信さんという数ある中から選ばれた4人で活動していきます。今年度は前半と後半に分けて活動をやっていきます。きょうは前半はわたしが、後半は赤澤さんをお願いします。

ロータリーの友の歩みをおさらいしたいと思います。太平洋戦争終戦後、平和回復と共に国際ロータリーへの復帰を願う努力が実を結びまして、1949年東京ロータリー・大阪ロータリーを含む7つのロータリークラブが国際ロータリーに復帰した歴史があります。その後、ロータリーもどんどん増えてきて、日本全国（60区）を分割しようということになり、1952年地区大会で、今年度7月から日本を2分割して活動することになりました。

分かれてもお互いに協力しあって、情報交換をしながら親睦を深めていこうという狙いの元に、“ロータリーの友”が発刊されることになりました。なぜ“ロータリーの友”かといいますと、主婦の友という婦人雑誌がありますが、それにあやかるといふ説と“ビールの友”は却下され、「ロータリーの友」になったということです。

1953年1月号初版の表紙には裏表紙もあります。当時は宣伝、1月号から6月号まで同じ表紙を使っています。時が経ち、今度は最初は横組だけだったのですが、俳句や短歌、川柳を載せたいという話が出て、縦組みが必要ということで、この号から表と裏ができた。両面表。2014年から電子版もできました。常にバックナンバーが見られますので、時間がある方は覗いてみてください。

1953年（昭和28年）は有名人がけっこう生まれています。シンガーソングライターの山下達郎さん、俳優の松平健さん、歌手の小林幸子さん、テレサ・テンさん。そして八戸市では実業家で音楽とゴルフが大好きな歌うロータリアンと言われている佐々木泰宏さん、健康のためにお酒をたしなんでいる、酔うと宇宙人とも交信できる、八戸の星の王子様、澤藤孝之さんも同じ年の生まれです。そういう年にロータリーの友は誕生しました。

ロータリーの友は食べてもダイエットになりますが、全然おいしくありません。ただし、読めば読むほどワクワク楽しくなり、心も丸く穏やかに豊かになります。ただ2～3ペー

ジ読まないとだめです。1回休むと支障がでます。ぜひ皆さんに読んでいただきたいので、“Challenge ロータリーの友” よろしく願います。

赤澤栄治委員



家を出るときに家内に、伝統と格式のあるロータリーでわたしが発表すると言って出てきましたが、プログラムを見たらわたしの名前が載っていない。テンションがダダ下がりです。うまくしゃべれません。

縦組みP14 柳壇 天の位に道尻誠助さんの句が載っています。

「ママ仕事 寂しき埋める 祖母の胸」

道尻さんの子どもさんが謳ったような気がします。ママがいなくて、パパが寂しくてお婆さんの胸に顔を埋めている……。皆さんの句も投稿していただければと思います。

縦組みP20 「馬と人とのうまい関係」

ふなばしてるお

馬と人がコミュニケーションを取り出したのは紀元前4,000年以上前、食用などの目的で家畜したことが始まりとされています。次に人間が考えたことは馬で移動する、乗馬としての馬の利用でした。

ここ南部も馬の産地で皆さんも馬との関係が深かったと思います。わたしも子どもの頃は馬が欲しくて欲しくて、馬を飼いたいと駄々をこねたのですが買ってもらえなくて、大きくなったら馬を飼おうと思ってなかなか買えず、今は山羊を飼っています。

尻内も馬の産地で有名です。林の前にせきという有名な遺跡があり、ちょうど熊ノ沢泉のところにあった遺跡です。西暦1,100年頃の平安時代に環濠集落という大規模な集落がありました。ちょうど競馬場のような楕円形の形をしていて、周りに堀があった。別名防護性集落、敵から守るための集落だったということです。現在の地を見ても皆さんあまりピンとこないと思いますが、あそこは相当切り立った険しい山でした。

真ん中が平になっていて、わたしが小学校5年生のときに貨物駅にするというので土を取ったので、写真を撮って報告していました。平成14年12月1日に新幹線開業で道路を整備するというので、県道20号線を整備することになり、市と県の担当者がきました。野原にスコップを一差ししたら出た。もうちょっと離れたところを彫ったらまた出た。何が出たかと思ったら遺跡が出た。発掘しなければいけない。

ということで、それから発掘が始まりました。発掘費用は道路建設課で出します。1年間に前期後期と分けて前半5,000万、後半5,000万で3年かかりました。3億です。

いろんな遺跡が出ました。特に出たのは鉄製品、貴金属がいっぱい出ました。かまど、煙道。平安時代の土器は厳密に長さや太さが決まっているが、それが熊ノ沢はそれが守られていない。県の担当者が言うには、ここは常識が通用しない、何でもありの遺跡だ。鉄製品は県の埋蔵文化センターに30年間で発掘した量よりも、ここ1か所で発掘した量のほうが多い。

八戸北インターの端っこ、尻内寄りに砂鉄場がありました。わたしも子どもの頃に行きましたが、砂鉄場が倒産して穴がぼっこり開

いていましたが、それがラピアを建てるときに地下駐車場から出た相当な土砂で埋めて平らになったという話を聞きました。あそこの遺跡は県内で2番目に大きい平安時代の環濠集落で貴重だ。京都との交流を示すいろんな貴金属も出ている。いい遺跡だけど保存しなくてもいいというのは、前に土を取って壊しているから。本当にいいのは壊されていない。

県の担当者がいうには、良かった良かった、これがなくて良かった。あればたいへんなことになる、お金がいっぱいかかって。保存ということになるとちょうどわたしにお金が入る予定だったのに、土を取っていなかったら、わたしは今どうなっているか。ちょっと寂しい思いをしています。

親睦・会場委員会 栗谷川敏彦委員長

来週の納涼例会ではビンゴ大会をやることになっていますので、皆さんからご協賛をお願いしたいと思います。事務局までお届けいただければありがたいです。

小田山幹事：例会終了後、定例理事役員会を行いますので、お集まりください。

出 席 報 告						出席委員会		
第3324回例会（8月21日）			第3322回例会（7月31日）					
出席率		64.1%	出席率		65.1%	修正出席率	69.8%	
総会員数		66名	出席数		41名	総会員数		
			総会員数		66名	メイクアップした人数		
出席義務会員		64名	出席免除会員		2名	欠席数		
			欠席数		23名	出席義務会員		
			出席義務会員		63名	出席免除会員		
			出席免除会員		3名	欠席数		
						19名		

—— 第3325回 納 涼

8月恒例の納涼例会は8月28日午後6時30分から八戸グランドホテルで奥様を含めて47名の参加で開催されました。納涼会にはピッタリの真夏日とまではいきませんでした、ビール大好き人間にとっては最高の1日となったようです。

例会は中村副幹事の司会で会長要件、幹事報告、程さんへの奨学金贈呈、小林姉妹クラブ委員長から基隆訪問の話などがありまし

例 会 2024.8.28 ——

た。

懇親会では栗谷川親睦会場委員長の司会で橋本会長の挨拶と乾杯の発声で歓談に入りました。セレモニーとして同伴の会員から奥様への花束贈呈が個人毎にありました。また珍しくカラオケ大会があり接待・山田・熊谷会員と築館&佐々木会員が歌を披露しました。

中締めは石橋会長エレクトの挨拶と一本締でおひらきとなりました。



